

温室効果ガス削減実施状況報告書

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

三甲株式会社 広島工場

(2) 事業所の所在地

広島県三次市南畑敷町870-9 みよしハイテク団地

(3) 業種

1892 プラスチック製容器製造業

2 計画の期間

本計画の期間は、平成25(2013)年度を基準年度とし、令和2(2020)年度から令和11(2029)年度までの10年間とする。

### 3 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標の達成状況

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量（t-CO<sub>2</sub>），削減率（％）

温室効果ガスの種類	基準年度 排出量(a)	目標年度 上段：見込量 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：実排出量(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和11年度 (2029)	令和02年度 (2020)	令和03年度 (2021)	令和04年度 (2022)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	10,805	9,076 16.0	7,541 30.2	7,658 29.1	7,231 33.1	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 実排出量総計	10,805	9,076 16.0	7,541 30.2	7,658 29.1	7,231 33.1	100.0	100.0
温室効果ガス みなし排出量							
実績に対する 自己評価	受注に左右される所も大きいですが、排出量としては順調に削減。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標： 生産重量(ton)

温室効果ガスの種類	基準年度 原単位 (a)	目標年度 上段：原単位 (b) 下段：削減率 (c)	計画期間の実績 (上段：原単位実績(d)，下段：削減量の対基準年度比 (e))				
	平成25年度 (2013)	令和11年度 (2029)	令和02年度 (2020)	令和03年度 (2021)	令和04年度 (2022)	令和 年度 ( )	令和 年度 ( )
エネルギー 起源CO <sub>2</sub>	0.676	0.568 16.0	0.551 18.5	0.487 28.0	0.542 19.8	100.0	100.0
非エネルギー 起源CO <sub>2</sub>		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
メタン		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一酸化二窒素		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他 温室効果ガス		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
温室効果ガス 排出量総計		0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
エネルギー消費原 単位(原油換算 k1)	0.231	0.194 16.0	0.245 -6.1	0.229 0.9	0.254 -10.0	100.0	100.0
実績に対する 自己評価	受注減少により悪化。設備更新で省電力化を進める。						

※ 削減率(c) = ((a)-(b))/(a) × 100 削減量の対基準年度比(e) = ((a)-(d))/(a) × 100

#### 4 温室効果ガスの排出の抑制に係る具体的な取組の実施状況

##### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1	電気使用量の削減	電気使用量を1%削減	・高効率照明への切り替え ⇒蛍光灯からLED照明へ 成形ライン 一部実施済み 組立ライン 一部実施済み
2			・高効率照明への切り替え ⇒蛍光灯からLED照明へ 事務棟 一部実施済み
3			・射出成型機(1台)を 油圧機から電動機に更新。
4			

##### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種類	合計量
1		
2		
3		

##### ○ その他の取組

	項目	削減量等	具体的な取組
1			
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記載してください。